

受託団体



## 特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ

「子どものことは子どもに聞こう」をモットーに、「子どもの権利」を大切にして、子どもが生き生きできる社会づくりに取り組んでいます。

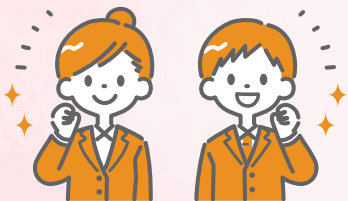
2002年、イギリスの虐待防止電話「チャイルドライン」をモデルに、いじめや虐待に苦しむ子どもたちの声を聴くフリーダイヤルを宮城県に設置しました。「チャイルドライン」は全国に広がり、国内69団体が協働で18歳までの子ども・若者の声を聴くフリーダイヤル（年間約16万6千件）、オンラインチャット（年間約1万5千件）を実施しています。

2017年からは社会的養護自立支援関係の事業（宮城県・仙台市）を受託し、現在までに支援対象者数は約100名となっています。

### 関係機関の皆様、里親さんへ

施設退所後や里親委託解除後の相談先の1つとして繋がるために、お子さんたちに面談とこの事業への登録を行っています。ぜひ対象のお子さんへおすすめください。

ソーシャルスキル学習会や  
一人暮らし体験などご希望の場合も  
ご連絡をお待ちしています。



### こんな方が対象の事業です

- 児童養護施設等で生活している方、退所された方
- 里親さんのもとで生活している方・生活していた方
- 児童自立生活援助の実施を受けている方・受けていた方
- 母子生活支援施設で生活している方・生活していた方
- 児童相談所により一時保護（委託を含む）されていた方
- 児童相談所の決定により児童相談所等で指導（委託を含む）を受けていた方
- 虐待経験がありながらもこれまで公的機関につながらなかった方で、現在支援を必要としている方

※対象となる方このような方たちが身近にいて、どこに相談したらよいかわからない場合もお問い合わせください。

### 宮城県・仙台市 社会的養護自立支援拠点事業

宮城県と仙台市が合同で行っている事業で、特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎが受託して実施しています。

#### 事業・寄付に関する相談先

特定非営利活動法人 **チャイルドラインみやぎ事務局**

平日 9:30～17:00 年末年始休業日はHP参照

相談メール [yougo\\_af@shirt.ocn.ne.jp](mailto:yougo_af@shirt.ocn.ne.jp)

**TEL・FAX 022-279-7210**

※来所希望の場合はメールか電話で予約をお願いします。

※予約日は平日以外でも相談に応じます。

〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5 スカイハイツ102



宮城県・仙台市社会的養護自立支援拠点事業

<https://miyagi-yougo.org/>

SNS

ぜひ  
チェック  
してね！

X



Instagram



チャイルドラインみやぎHP



宮城県・仙台市

## 社会的養護自立支援 拠点事業 ごあんない



### 事業の内容

現在、実親と暮らせない子どもたちが約42,000人います。その多くは児童養護施設や里親のもとで暮らしています。その子たちの約6割が虐待を経験しています。

保護者のない児童や、保護者が育てることが難しい児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、家庭への支援を行うことを「社会的養護」といいます。その理念は「子どもの最善の利益のために」「社会全体で子どもを育む」ことです。

まずはこの子たち・若者たちに関心を持ち、現実を知り、彼らの自立のためにできることを、と一緒に考え、支えてください。お近くに心配な子や若者がいたら当事業へつないでください。

自立前、自立後いずれも利用可能です。

## 事業の内容

### ソーシャルスキル学習会

社会生活に必要な知識などを学ぶ学習会です。講師派遣、動画提供など、ご相談に応じます。

### 科目例

- 就職する時の留意点
- 金銭管理
- 契約やインターネットに関するリスク管理
- 社会人としての身だしなみ/ビジネスマナー
- 好きな人ができたら/性に関すること
- 一人暮らしについて/衣食住
- 一人暮らし体験  
(実際にアパートの一室で調理や掃除、洗濯等を体験)

### 相談事業

生活のこと、仕事のこと、お金のことなど、心配なことがあれば何でも相談できます。まずはお問合せください。

### 支援事業

相談後、必要に応じて具体的な支援を行います。(支援内容によって実費が発生する場合がありますが、相談の際にご説明します。事業に協力してくださっている弁護士への相談もできます。)

### 相互交流支援事業

対象者同士が交流できる場を提供しています。交流会などイベントのお知らせなども送付しています。

### 安否確認・緊急支援

情報提供に合わせて近況アンケートの実施、必要な際には物資や食料の緊急支援を行います。

## 自立前、自立後に子ども・若者がかかえる問題

### 進学

虐待等により学業に集中できなかったため、学力が不足。学歴によっては就職も難しい。進学のための学費や生活費が不足。

### 保証人

保証人がいないため就職やアパート契約等が難しい。

### 仕事と住居

就職先の寮に入居した場合、離職すると寮を出なければならず、住居も失ってしまう。

### 仕事

コツコツ働くより手軽にお金が入る仕事に魅力を感じ、退職や転職をしてしまう。

### 実親・親族との関係

施設入所中には疎遠だった親族との関係で、悩むことがある。

### 友人関係

友人とのつきあいでお金がかかり、家族のある友人との格差を感じる。

### 日常生活

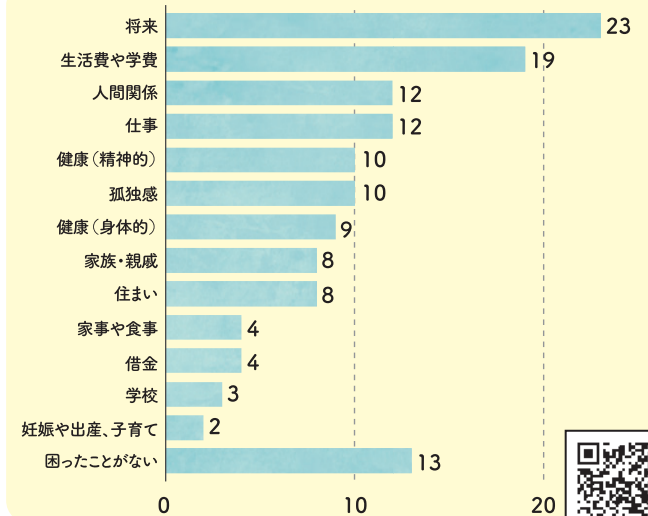
- 一人暮らしが淋しくて、様々な交友関係ができ、問題を抱えてしまう。
- 施設や里親宅で養った生活リズムがくずれて、掃除やごみ処理、食生活がおろそかになる。
- 日常的に相談する相手が身近にいなくなり、郵便物の処理、様々な手続き、金銭管理などがうまくいなくなる。

## 宮城県における児童養護施設退所者等の実態調査(令和5年度)結果より

(過去5年間に中学卒業以降で措置・委託・援助等の解除者を対象)

- 対象者318名のうち調査票を送付できなかった宛先不明者が139名(43.7%)でした。
- 現在の居住地は、回答者62名中県内在住が52名、県外在住が10名で、県内在住が多くなっています。
- 働いている人の内訳は、正社員15名、派遣社員・契約社員8名・パート・アルバイト17名となっており、不安定な雇用形態の人の割合が高くなっています。
- 「現在心配なこと」については、複数回答137件の結果が下記の通りでした。「困ったことがない」と回答した人は安定した生活を送っていると思われるが、様々な心配事を持つ人に対しては、よりきめ細かな支援をしていく必要があることを示す結果となっています。

### 現在心配なこと



詳細は右の二次元コードをご覧ください。



## 社会全体で子ども・若者を支えるサポーターを募集中!

生まれた家庭の状況で子どもたちの人生が違っていいのでしょうか? 社会的養護の元にある子どもたちは「かわいそう」ではありません。子どもたちの中にある力を生かせるような支援や、子どもたちが自分の力を発揮できる社会の実現が必要です。

そのために、現在「子ども・若者サポーター」を募集しています。活動は、職員と一緒に児童養護施設内などでのソーシャルスキル

学習会、交流会などのイベント、困窮する若者のために生活物資支援の準備・発送、手続きなどへの同行支援、などを行っていただきます。活動に当たっては研修を受けていただく場合があります。

また、これらの子ども・若者をサポートしていただく事業提案や、就労に向けての支援、住居の提供、生活支援のための物品・食料提供などの相談も常時受け付けています。